

茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

【本納小学校】

○ 日 時：令和3年5月18日（火）19：00～19：50

○ 場 所：本納小体育館

○ 参加者：15名

- ・ 審議会委員 3名
- ・ 教育委員 1名
- ・ 事務局 17名

| | |
|-----------------|--------|
| 教育長 | 内田 達也 |
| 教育部長 | 中村 一之 |
| 教育部次長（教育総務課長） | 佐久間 尉介 |
| 学校教育課長 | 金澤 勤 |
| 学校教育課主幹 | 伊藤 信博 |
| 学校教育課主幹 | 宮内 智之 |
| 教育総務課長補佐 | 小安 宏尚 |
| 教育総務課学校再編推進室長 | 大橋 康博 |
| 教育総務課総務係長 | 吉野 司 |
| 教育総務課学校再編推進室主査 | 石田 卓也 |
| 教育総務課総務係副主査 | 太田 智弘 |
| 教育総務課学校再編推進室主事 | 紺野 晃弘 |
| 教育総務課学校再編推進室 | 深山 秀樹 |
| 教育総務課学校再編推進室 | 狩野 久志 |
| 防災対策課長 | 小久保 堅 |
| 企画財政部次長（企画政策課長） | 木島 成浩 |
| 都市建設部次長（土木建設課長） | 白井 高 |
| 土木管理課長 | 本間 一裕 |

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明
- 4 意見交換

（以下、意見交換）

住 民 現在、息子の方がサッカークラブで小学校の校庭の方を使わせていただいている。7月には移転するので校庭の方は使えないと言われたが、校庭や体育館の有効活用というのはどのように考えているのか。

中 村 部 長 土砂災害の警戒区域に指定されているということから、天候だとか安全性に十分配慮をした中で、安全に利用できる状況であればできるだけ住民の方に使っていただけるよう、検討していく。

住 民 崖が危険区域に指定されるということで立入禁止になるのではないかと、という不安があり、もう校庭使わせていただけないのではないかと考えていた。

以前、中学校の第2グラウンドとして使用することはどうなったのか。

- 佐久間次長 本納中学校の第2グラウンドの件は、現状ではまだ決まっていない。
- 住 民 崖の方は心配のないように何か補強とか考えているのか、それとも、雨の日とか地震などが無い日は、使用して良いという感じか。
- 大橋室長 現在のところ崖の方を措置する考えはない。危険がないように条件を付けて、制限した中で利用できないかを検討している。
- 住 民 本納中学校の整備計画の中にはないが、もう少し土等を入れて使いやすいグラウンドにしてほしい。また、本納中学校の周りのフェンスが切れていたり、いろいろな不都合な箇所がある。新校舎に小学生が入って行く前に整備も一緒にやっていただけないか。
- 佐久間次長 グラウンドの整備やフェンスについては、予算の確保等にも努めて子供たちの環境整備に力を尽くしていきたい。
- 住 民 学校の周辺で変質者や盗撮の情報があつた。小学校から連絡が来るのと来ないのがあるが、いろいろな事件があると思うが、どのように市役所は把握し、小学校や中学校に連絡して、保護者に来るのか。
- 金澤課長 確かに最近そういった情報が幾つか入ってきている。中には確かな情報ではなくて、誤報が確認できたものも入ってくる。市の方では、まずいちばん多くの情報をもらえるのは、学校から入ってくることが多い。その情報を市は青少年指導センターや市の生活課と情報を共有する。そして、市内の他の学校、状況によっては他の地域、地区の方にも流れるように、一斉に情報の伝達を行っている。当然学校の方からは、その情報がすぐの情報であれば、子供たちの集団下校を確認したり、保護者に緊急に引き渡しをお願いをしたりする。
- 情報の共有をしながら子供たちの安全を考えて対応している。
- 住 民 この辺りは雨が降ると、通学路が沈んでしまったりするが、その対策は何か進んでいるのか。
- 白井次長 本納地区については河川整備事業が進んでいかないと抜本的な対策にはならないと考えている。市としては、県の事業で行っている赤目川の改修事業、それに流れ込む市が管理する乗川（のりかわ）の整備に取り組んでいる状況である。引き続き、県に対しては事業推進を図るように、要望していきたい。
- 住 民 新しい学校まで家からどういうふうな通学ルートになるのか、いつごろ、どのような形で決まるのか。また、基準となるルートはどのような形で決定されるのか。
- 金澤課長 基本的には9月の移転に間に合うように、子供たちの家から本納中学校の今できている校舎に向けて、どのルートを通るといちばん安全に登校できるか、学校で検討している。車の通行と子供たちの歩く場所とを考えた中で、このルートを集団登校しようというような形で決めていく。保護者の方からも子供たちの登校に際して、学校と情報を共有しながら進めてほしい。
- 住 民 中学校の周りの道路幅員が狭いという状況であり、道路管理者は市道になるかと思うので、市役所の各課が連携をして道路整備をしてほしい。

白井次長 学校周辺の道路整備については、北側の通りの本宿下踏切から橋樹神社にかけての道路が一部歩道がないため、歩道整備に今取り組んでいる。これから用地を取得して工事に入っていきような計画である。

学校の前の道路については、グリーンベルトを設置して安全対策に取り組んでいく。

住民 現在、コロナ禍で学校が閉鎖されるというような状況があり、オンライン授業については茂原市はどのようになっているのか。

金澤課長 茂原市については、県内の千葉市とか東葛の方と異なり、まん延防止の対象地区外になっているが、引き続き感染防止に取り組んでいきたい。

学校においては、今の1人1台のコンピューターが割り当てられ、ICTを活用した授業をできるだけ使っていきながら、子供たちに情報活用能力等の力を付けていきたい。臨時休業等になった場合のオンライン授業等については、今の段階ではすぐに始められるような準備までは進んでいない。

状況を見ながら子供たちの学習がきちんと保障されるように精一杯考えていく。

住民 新校舎の教室の数は、あまり多くないと思うが、合併して小学校のクラスが1学年2クラスずつになると、どのようになるのか。クラスが全部入るのか。

大橋室長 資料の(28ページ)本納ニュータウンを見込んだ児童生徒数のところで、本納小中学校の教室数は24教室とある。小学校新校舎は8教室なので、不足部分が生じたときには、中学校の教室を使っていく。

住民 高学年の子供たちが中学校の方の教室を使うことになるのか。

大橋室長 その時の状況によるが、基本的には新校舎の方が低学年を中心に埋めていくような形にして、高学年の方が中学校の校舎を使うような形になるかと思う。

住民 今年は、修学旅行やイベントなどが中止になってしまうのか。小学校の生活の中で、子供たちが楽しみにしていたイベントがなくなるのは、すごくかわいそうだなと思う。

金澤課長 昨年度は茂原市内の小中学校は、一斉に全部の学校が修学旅行を中止する判断をした。これは感染の予防を考えてのことである。各学校では、それに替わる学習や行事をした。

今年度については今のところ一斉に中止ではなく、あくまでも感染防止を十分に踏まえた上で、保護者の方の理解と子供たちの考え等を総合的に考えて各学校で十分検討して行くこととしている。

今年度は子供たちに行かせてあげたいと思っているが、やはり優先は子供たちの安全ということが第1となるので、各学校の判断を待ちたい。